

大阪市立中学校生徒を対象とした ヤングケアラー実態調査報告書

(家庭生活と学校生活に関する調査)

【概要版】

令和4年7月

■調査者

大阪市 大阪市教育局委員会

研究チーム〔宮川 雅充(関西学院大学) 南 多恵子(京都光華女子大学) 濱島 淑恵(大阪歯科大学)〕

■調査の概要

- ▶ 対 象 大阪市立中学校 128 校の1年生～3年生
51,912 人 (令和3年12月末現在)
- ▶ 実施方法 授業時間等を活用して実施 (無記名・自記式質問紙調査)
- ▶ 実施期間 令和3年11月中旬から令和4年1月上旬
- ▶ 調査項目
 - ・基本事項 (年齢、性別、学年、同居家族など)
 - ・普段の生活と健康状態 (日常生活の状況、生活満足感、健康状態など)
 - ・学校生活 (欠席、遅刻、宿題忘れ、卒業後の進路先など)
 - ・家族のケア (ケアを要する家族の有無、状態、ケアの内容、期間、頻度、時間など)
 - ・悩みや困りごと
 - ・ヤングケアラーに関する認識
- ▶ 調査票回収数 46,321 人
- ▶ 有効回答数 45,268 人 (有効回答率 87.2%)

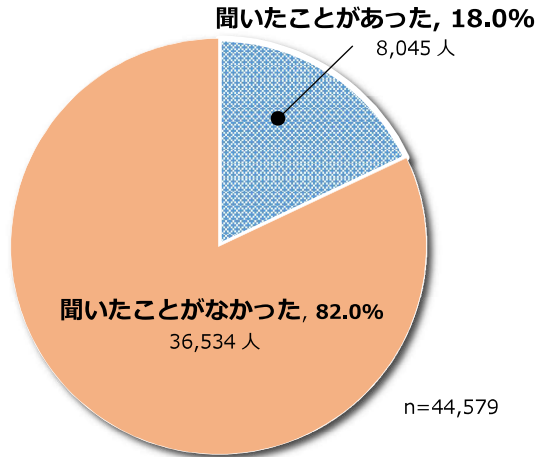
代表的な項目についてのみ掲載しています。

詳しいデータについては、大阪市立中学校生徒を対象としたヤングケアラー実態調査報告書をご覧ください。

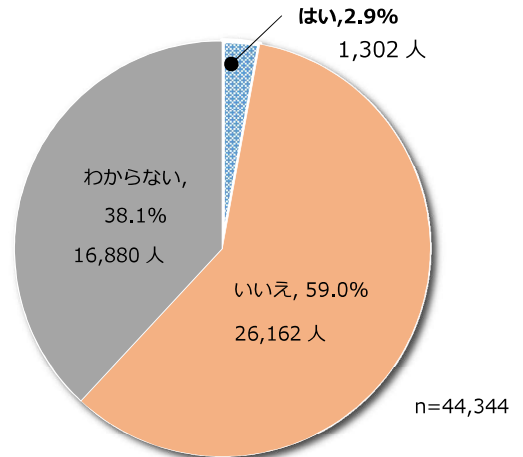
集計結果の数値については、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

ヤングケアラーに関する認識

「ヤングケアラー」という言葉を以前に聞いたことがありましたか

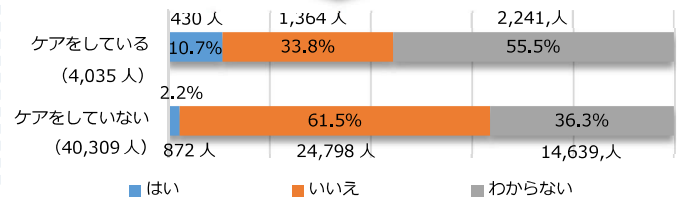


あなたは、自分を「ヤングケアラー」だと思えますか



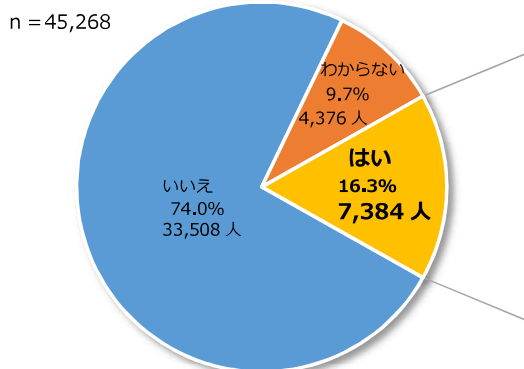
- ・ヤングケアラーという言葉をや約2割が「聞いたことがあった」と回答した。
- ・自分をヤングケアラーだと思うか否かを尋ねたところ、「はい」と回答した者は2.9%であった。約6割が「いいえ」と回答し、約4割が「わからない」と回答していた。「ケアをしている」と回答した者では約1割が「はい」と答え、約3割は「いいえ」と回答しており、5割以上が「わからない」と回答していた。

ケアの有無別



家族のケアをしている状況

あなたの家族には、高齢である、幼い、病気や障がいがある、精神的に不安定、日本語が苦手などのために、介護、手伝い、精神的サポートが必要な人はいますか。



あなた自身が介護、お手伝い、精神的サポートをしていますか。

- ・7,384 人のうち、4,133 人が「している」と回答
- ・すなわち、ヤングケアラーと考えられる者は有効回答数 45,268 人の **9.1%**

- ・ケアを要する家族がいるか否かを尋ねたところ、「はい」と回答した者は16.3%であり、そのうち自分自身がケアを「している」と回答した者は56.0%であった。
- ・ケアを「している」と回答した者すべてをヤングケアラーとみなした場合、ヤングケアラーの存在割合は約9.1%であった。

《参考》全国調査

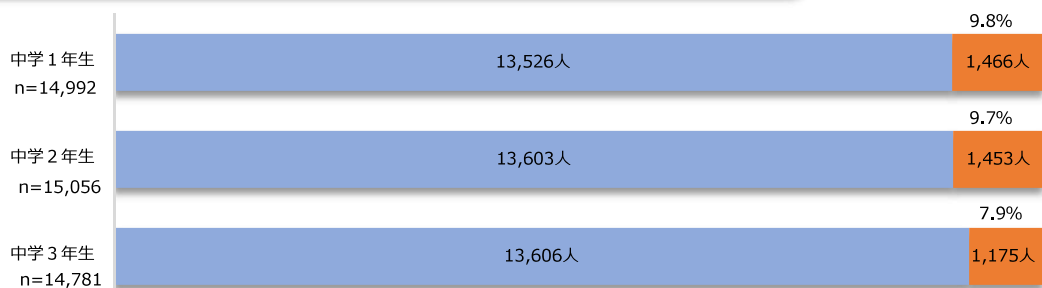
R3.3「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」
三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株)

◆世話(※)をしている家族が「いる」と回答した割合
中学2年生 5.7%

※：“本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などをする”と定義
全国調査と本調査では、尋ね方、ヤングケアラーとみなす条件が異なるため、単純な数値の比較はできませんが、参考に記載しています。

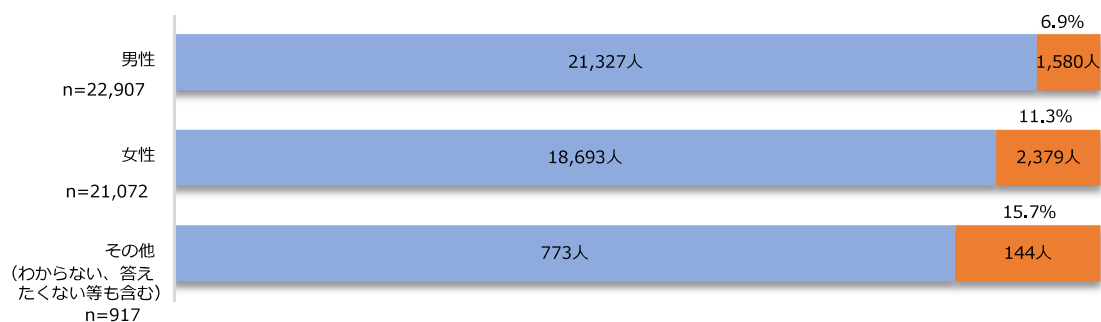
ヤングケアラーの存在割合

学年別に見たヤングケアラーの存在割合



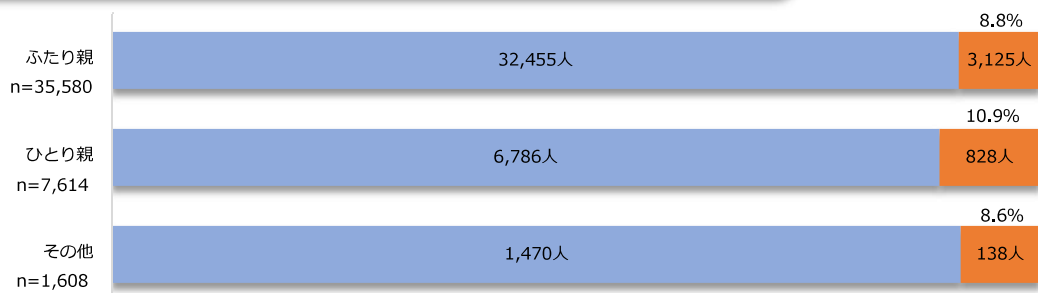
・学年別では、1 年生で 9.8%、2 年生で 9.7%であり、ともに約 1 割になった。3 年生は、7.9%と少し低い割合であった。

性別にみたヤングケアラーの存在割合



・性別では、男性（6.9%）よりも女性（11.3%）の方が、存在割合が高かった。

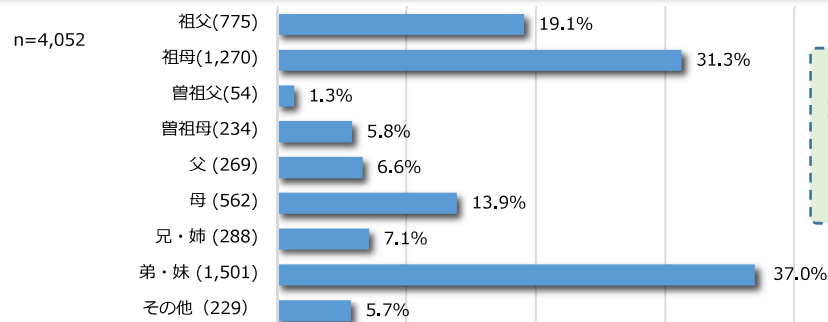
家族形態別に見たヤングケアラーの存在割合



・ひとり親の家庭における存在割合が最も高く 10.9%であった。

ケアの内容及び頻度

ケアをしている相手（複数選択あり）



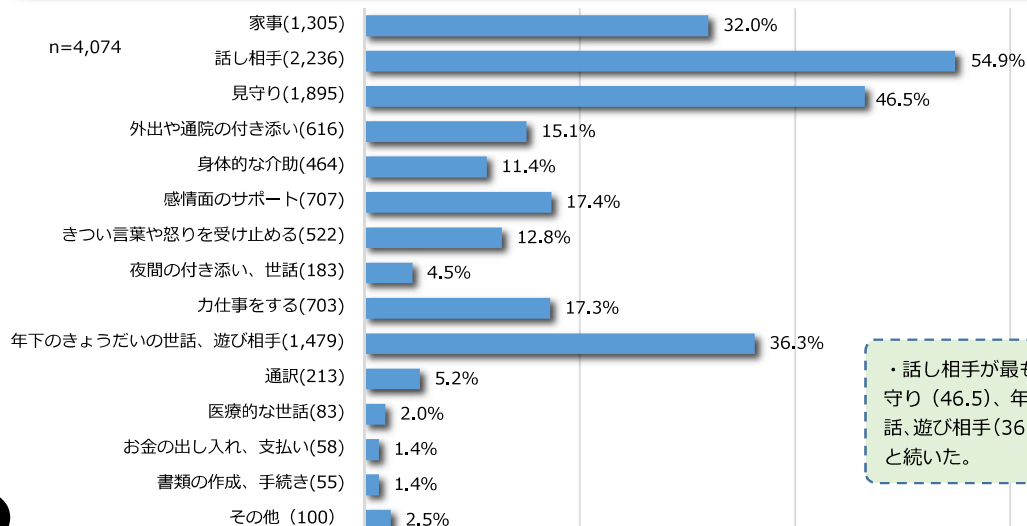
・ケアを要する家族は、弟・妹が最も多く（37.0%）、次いで祖母（31.3%）、祖父（19.1%）、母（13.9%）等となった。

ケアを要する家族別に見た状態（複数選択あり）

	病気	認知症	高齢である	幼いたため世話が必要である	身体障がい、または身体的な機能低下	精神疾患や精神障がい、または精神的に不安定	知的障がい	発達障がい	日本語が苦手（外国の出身である等の理由で）	お酒をものすごく飲む（アルコールに依存する傾向がある）	ギャンブルがとてもしんどい（ギャンブルに依存する傾向がある）	その他	わからない
祖父 (n=339)	109人 32.2%	75人 22.1%	238人 70.2%	3人 0.9%	113人 33.3%	5人 1.5%	3人 0.9%	3人 0.9%	2人 0.6%	13人 3.8%	1人 0.3%	14人 4.1%	6人 1.8%
祖母 (n=730)	175人 24.0%	169人 23.2%	564人 77.3%	6人 0.8%	167人 22.9%	18人 2.5%	3人 0.4%	6人 0.8%	6人 0.8%	5人 0.7%	1人 0.1%	33人 4.5%	19人 2.6%
曾祖父 (n=11)	2人 18.2%	5人 45.5%	10人 90.9%	0人 0.0%	2人 18.2%	0人 0.0%	1人 9.1%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 9.1%	0人 0.0%
曾祖母 (n=121)	18人 14.9%	41人 33.9%	108人 89.3%	1人 0.8%	22人 18.2%	1人 0.8%	1人 0.8%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	6人 5.0%	3人 2.5%
父 (N=111)	35人 31.5%	5人 4.5%	11人 9.9%	0人 0.0%	39人 35.1%	18人 16.2%	1人 0.9%	0人 0.0%	16人 14.4%	12人 10.8%	2人 1.8%	11人 9.9%	4人 3.6%
母 (n=314)	100人 31.8%	1人 0.3%	3人 1.0%	2人 0.6%	46人 14.6%	111人 35.4%	4人 1.3%	4人 1.3%	63人 20.1%	21人 6.7%	3人 1.0%	24人 7.6%	18人 5.7%
兄・姉 (n=187)	25人 13.4%	5人 2.7%	0人 0.0%	2人 1.1%	37人 19.8%	48人 25.7%	59人 31.6%	60人 32.1%	3人 1.6%	0人 0.0%	0人 0.0%	11人 5.9%	19人 10.2%
弟・妹 (n=1,217)	32人 2.6%	1人 0.1%	0人 0.0%	914人 75.1%	57人 4.7%	34人 2.8%	110人 9.0%	212人 17.4%	11人 0.9%	0人 0.0%	0人 0.0%	29人 2.4%	21人 1.7%
その他 (n=136)	15人 11.0%	4人 2.9%	7人 5.1%	72人 52.9%	24人 17.6%	10人 7.4%	13人 9.6%	17人 12.5%	3人 2.2%	1人 0.7%	1人 0.7%	11人 8.1%	8人 5.9%
計 (n=3,166)	511人 16.1%	306人 9.7%	941人 29.7%	1,000人 31.6%	507人 16.0%	245人 7.7%	195人 6.2%	302人 9.5%	104人 3.3%	52人 1.6%	8人 0.3%	140人 4.4%	98人 3.1%

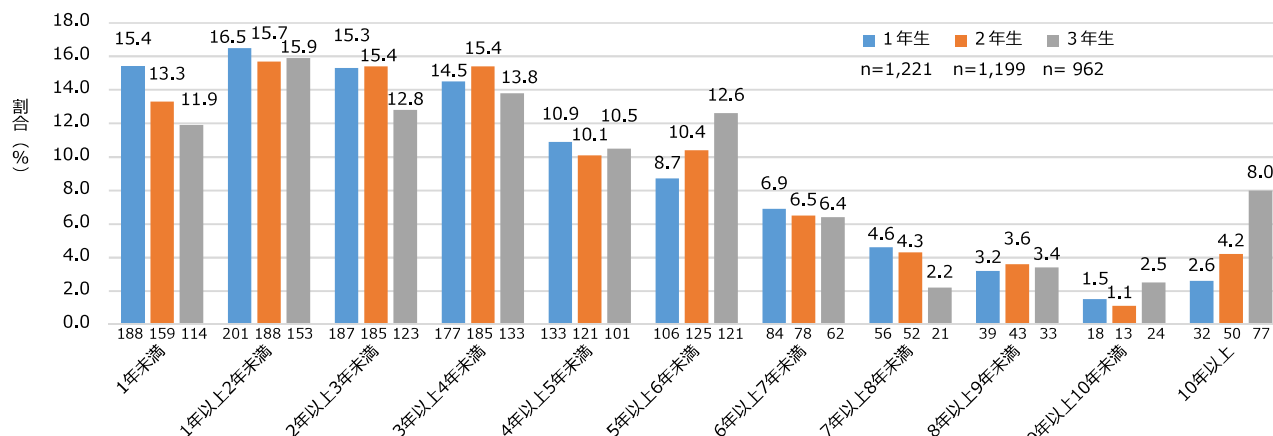
※ケアを要する家族に関する質問に1項目のみを回答をしていた者のみを対象

どのようなケアをしているか（複数選択あり）



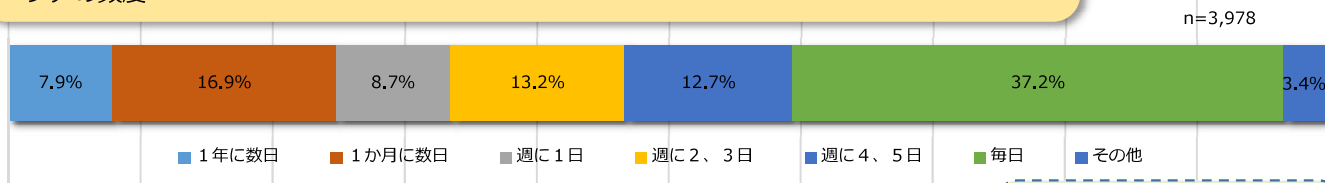
・話し相手が最も多く（54.9%）、見守り（46.5%）、年下のきょうだいの世話、遊び相手（36.3%）、家事（32.0%）と続いた。

ケアの期間



・ケアをしてきた期間を尋ねた結果、平均3年9か月、最長で15年4か月（生まれてからずっとの意と考えられる）であった。中央値は3年0か月であり、半数は3年以内であったが、10年以上の期間を回答した者もいた。
 ・学年別にみると、1年生で1年以上の期間を回答した者は84.6%、2年生で2年以上の期間を回答した者は71.1%、3年生で3年以上の期間を回答した者は59.5%であり、小学生のときからケアをしていた者が相当数いると考えられた。
 ・また、1年生で4年以上の期間を回答した者は38.3%、2年生で5年以上の期間を回答した者は30.1%、3年生で6年以上の期間を回答した者は22.6%であり、小学校低学年のときからケアを担っている者も少なからず存在することが確認された。

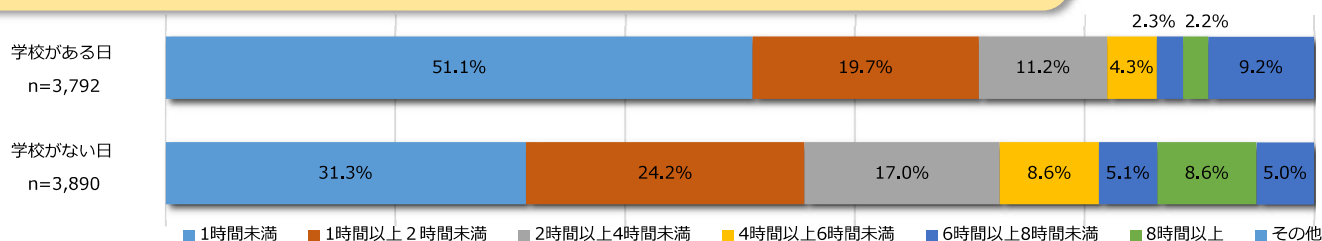
ケアの頻度



頻度	1年に数日	1か月に数日	週に1日	週に2、3日	週に4、5日	毎日	その他
回答数	313人	671人	347人	527人	505人	1,479人	136人
割合	7.9%	16.9%	8.7%	13.2%	12.7%	37.2%	3.4%

・毎日が最も多く約4割（37.2%）を占め、次いで1ヶ月に数日（16.9%）、週に2、3日（13.2%）、週に4、5日（12.7%）と続いた。毎日と週に4、5日を合わせると、約5割が毎日のようにケアをしていると回答していた。

ケアの時間

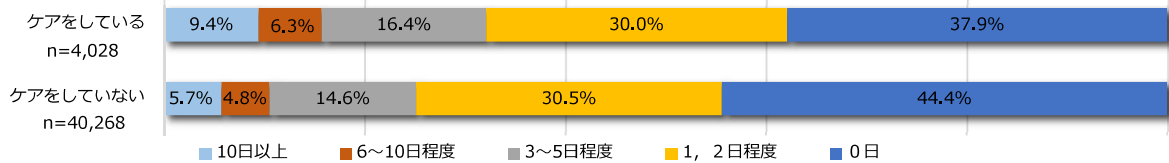


	時間	1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上4時間未満	4時間以上6時間未満	6時間以上8時間未満	8時間以上	その他
学校がある日	回答数	1,938人	748人	426人	164人	86人	83人	347人
	割合	51.1%	19.7%	11.2%	4.3%	2.3%	2.2%	9.2%
学校がない日	回答数	1,219人	943人	662人	336人	199人	335人	196人
	割合	31.3%	24.2%	17.0%	8.6%	5.1%	8.6%	5.0%

・学校がある日は「1時間未満」が最も多く約半数を占め（51.1%）、次いで「1時間以上2時間未満」（19.7%）、「2時間以上4時間未満」（11.2%）と続いた。学校がない日においても、「1時間未満」が最も多く（31.3%）、次いで「1時間以上2時間未満」が（24.2%）、「2時間以上4時間未満」（17.0%）と続いた。

学校生活の状況

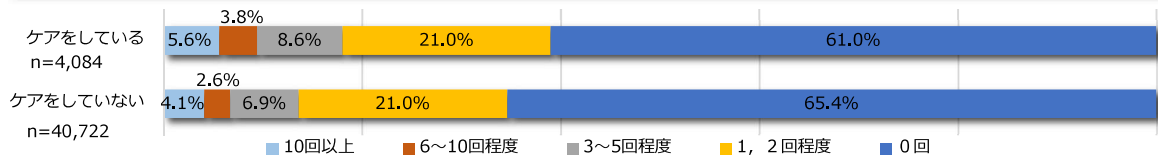
令和3年度の1学期に学校を欠席したことは何日ありましたか



	日数	10日以上	6~10日程度	3~5日程度	1, 2日程度	0日
ケアをしている	回答数	379人	252人	660人	1,210人	1,527人
	割合	9.4%	6.3%	16.4%	30.0%	37.9%
ケアをしていない	回答数	2,312人	1,924人	5,864人	12,279人	17,889人
	割合	5.7%	4.8%	14.6%	30.5%	44.4%

・ケアをしている者の方がしていない者よりも欠席の日数について、多い傾向がみられた。

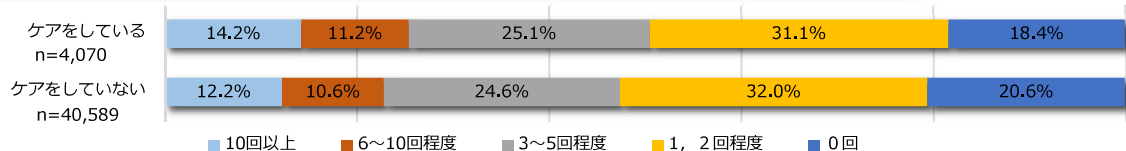
令和3年度の1学期に学校を遅刻したことは何回ありましたか



	回数	10回以上	6~10回程度	3~5回程度	1, 2回程度	0回
ケアをしている	回答数	228人	154人	351人	859人	2,492人
	割合	5.6%	3.8%	8.6%	21.0%	61.0%
ケアをしていない	回答数	1,687人	1,048人	2,810人	8,539人	26,638人
	割合	4.1%	2.6%	6.9%	21.0%	65.4%

・ケアをしていると回答した者の方が遅刻の日数が多い傾向がみられた。

令和3年度の1学期に宿題を忘れたことは何回ありましたか

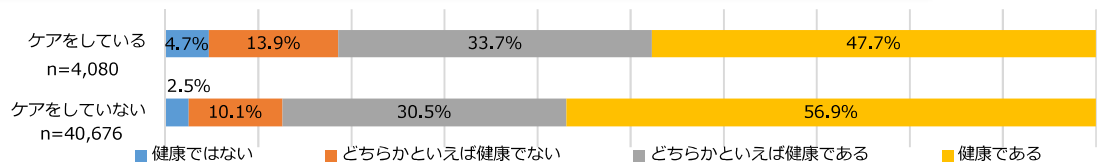


	回数	10回以上	6~10回程度	3~5回程度	1, 2回程度	0回
ケアをしている	回答数	577人	456人	1,023人	1,267人	747人
	割合	14.2%	11.2%	25.1%	31.1%	18.4%
ケアをしていない	回答数	4,954人	4,297人	9,987人	12,994人	8,357人
	割合	12.2%	10.6%	24.6%	32.0%	20.6%

・ケアをしていると回答した者の方が宿題忘れの回数が多い傾向がみられた。

健康感

過去30日間をふりかっ、あなたの健康状態は

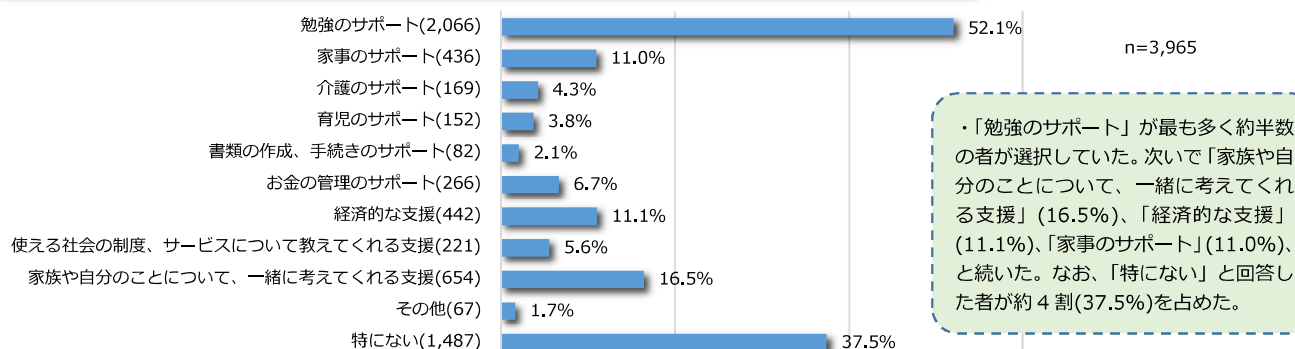


	状態	健康ではない	どちらかといえば健康でない	どちらかといえば健康である	健康である
ケアをしている	回答数	192人	567人	1,376人	1,945人
	割合	4.7%	13.9%	33.7%	47.7%
ケアをしていない	回答数	999人	4,115人	12,402人	23,160人
	割合	2.5%	10.1%	30.5%	56.9%

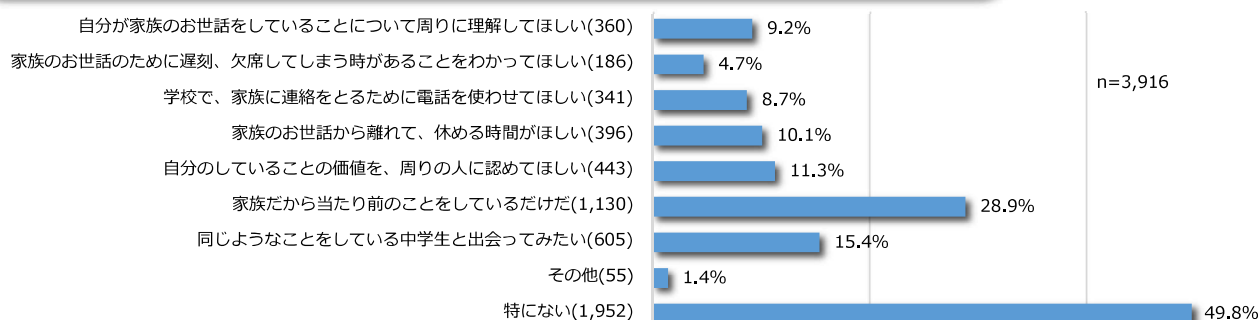
・ケアをしている者の方がケアをしていない者よりも、全体的な健康感は低い傾向がみられた。

悩みや困りごと

あなたが、今、ほしいと思うサポートや支援（複数選択あり）

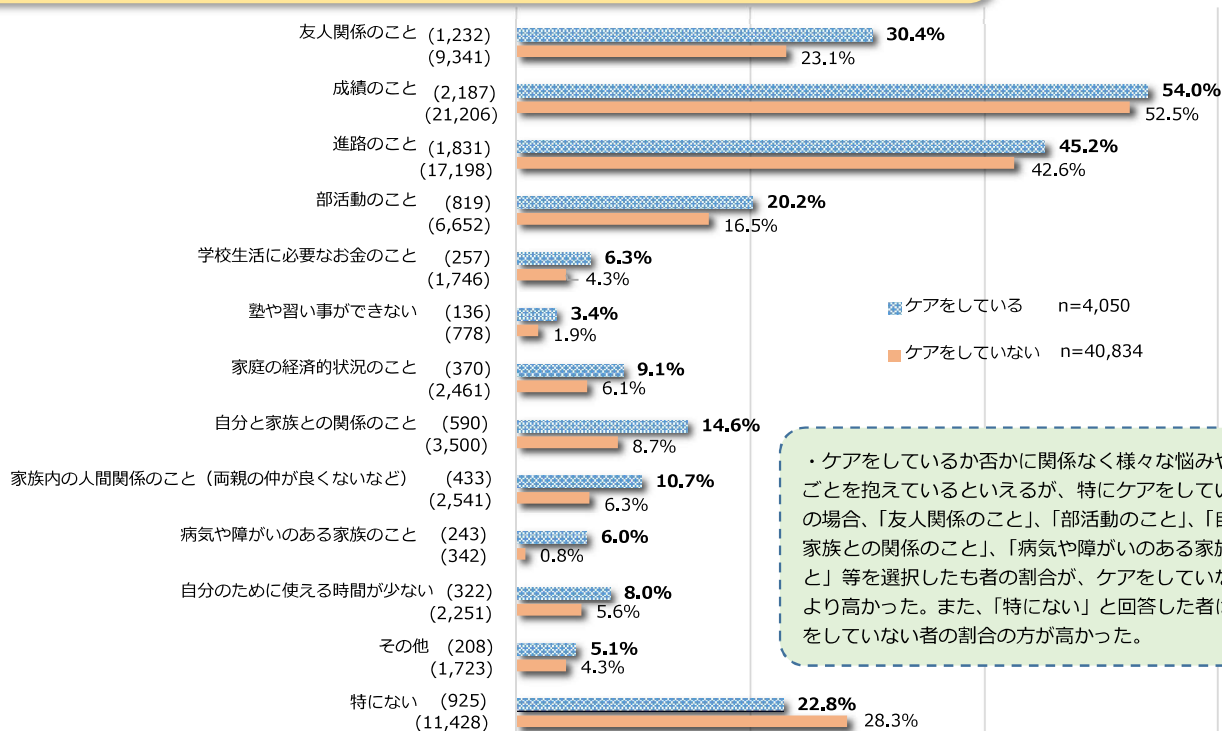


あなたが、介護、お手伝い、精神的サポートをしてきて、学校、社会、周囲の人などに対して思ったことがあること（複数選択あり）



・「特になし」が最も多く（49.8%）、次いで「家族だから当たり前のことをしているだけだ」（28.9%）、「同じようなことをしている中学生と出会ってみたい」（15.4%）、「自分のしていることの価値を、周りの人に認めてほしい」（11.3%）、「家族のお世話から離れて、休める時間がほしい」（10.1%）と続いた。

ケアの有無による悩みや困りごとについて（複数選択あり）



調査結果の概要（まとめ）

◆ ヤングケアラーの存在割合

- ・ケアを要する家族がいる、自分がその人のケアを担っていると回答した者をヤングケアラーとみなした場合、ヤングケアラーの存在割合は9.1%であった。ただし、負荷がそれほど大きくないヤングケアラーも多く含まれていると考えられる。
- ・学年別では、3年生において存在割合が最も低く（7.9%）、性別では、男性よりも女性（11.3%）に多く、家族形態では、ひとり親の家庭（10.9%）で存在割合が高い傾向がみられた。

◆ ケアを要する家族とその状態及びケアの内容

- ・ケアの相手は、弟・妹（37.0%）、祖母（31.3%）、祖父（19.1%）、母（13.9%）、兄・姉（7.1%）、父（6.6%）等であった。
- ・弟・妹は幼いため世話が必要である、もしくは障がいや有している状態が多く、祖父母は高齢である、認知症、身体的機能の低下がみられる状態にあるものが多かった。父母の場合は病気や障がいや有するケースが多く、特に母の特徴として精神障がい等がある、父親の特徴として何らかの依存症であるケースが多かった。さらに今回は、日本語が苦手なケースも多く、外国にルーツのある家族のケアをするヤングケアラーの存在も確認された。
- ・ケアの内容は、「話し相手」が最も多く、「見守り」、「年下のきょうだいの世話、遊び相手」、「家事」と続いた。

◆ ケアの期間、頻度と時間

- ・ケアの期間をみると、小学校低学年のときからケアを担っている者も少なからず存在することが確認された。
- ・ケアの頻度は「毎日」が最も多く約4割、「週4、5日」と合わせるとほぼ毎日と回答した者が約5割になった。
- ・ケアの時間は学校のある日、ない日ともに「1時間未満」が最も多かったが、「8時間以上」と回答した者もいた。学校がない日の方が長時間になる傾向がみられた。

◆ 健康感と学校生活

- ・ケアをしている者の方が、欠席の日数や遅刻、宿題忘れの回数が多い傾向がみられ、友人関係、部活動、自分と家族との関係のことといった悩みを抱えている者が多かった。
- ・ケアをしている者の方が、全体的な健康感が低い傾向がみられた。

◆ 悩みや困りごと

- ・ほしいサポートや支援については、勉強のサポートが最も多く（52.1%）、家族や自分のことについて、一緒に考えてくれる支援（16.5%）、経済的な支援（11.1%）、家事のサポート（11.0%）等が挙げられた。「特になし」と回答した者が4割近くにのぼった。
- ・学校、社会、周囲に対して思うこととして、家族だから当たり前のことをしているだけだ（28.9%）、同じようなことをしている中学生と出会ってみたい（15.4%）、自分のしていることの価値を周りの人に認めてほしい（11.3%）、家族のお世話から離れて、休める時間がほしい（10.1%）等が挙げられた。

◆ 報告書に関する問い合わせ先

大阪市 こども青少年局 企画部 企画課
〒530-8201 大阪市北区中之島1丁目3番20号
電話：06-6208-8337 FAX：06-6202-7020
Eメール：fb0002@city.osaka.lg.jp